

とやま



県公連会報

第346号

令和5年3月15日
富山県公民館連合会
富山市舟橋北町7-1
富山県教育文化会館内
TEL・FAX(076)444-5777
E-mail tomic07@iaa.itkeeper.ne.jp



秋のライトウォーク
～年2回(春秋)バス旅行 人気抜群～



ばっちゃん劇団を観よう
～隣地区の高齢者劇団を招いて～



3世代交流「家族でしめ飾りづくり」
～手づくりしめ飾りでお正月を迎えよう～



多文化共生
～ネパールの食や芸能を通して～

表紙写真

地域コミュニティの身近な拠点として

高岡市立成美公民館

成美公民館は、国道8号線に近く市役所や警察・消防署等の主要施設が集まる市街地に位置しています。

詩吟や手品・太極拳や工芸等、33のサークル活動の他、連合自治会や各種団体の活動拠点として、多くの団体に幅広く活用されています。

近年は、家族を対象とする事業での世代交流の促進や、SNSでの活動紹介等、積極的な発信にも努めています。

今後も、人をつなぎ地域の活力を高める身近な拠点として愛される公民館運営を目指していきます。

〈本号の主な内容〉

- 2面 ● 先進事例を学ぶ研修会
 - ・ 講演概要
- 3面 ● 主事・指導員等研修会
 - ・ 講演概要
 - ・ 委嘱公民館の発表
- 4面 ● わが町の公民館活動
 - ・ 富山市立山田公民館
 - ・ 立山町立新川公民館
- 5面 ● わが町の公民館活動
 - ・ つつし自治会
 - ・ 朝日町立山崎公民館
- 6面 ● 令和5年度事業予定案

令和4年度 先進事例を学ぶ研修会

～福井県高浜町立和田公民館の先進事例から学ぶ～

12月15日(木)、先進事例を学ぶ研修会は、はつらつ公民館学び支援事業実施館の関係者等57名が参加して県教育文化会館で開催された。

開会に当たり、来賓として出席いただいた県教育委員会生涯学習・文化財室家庭成人教育班長麦谷理香氏から、「本日の研修会は、事業実施公民館の関係者の皆さんの資質向上をねらいとして、昨年度から開催され、公民館活動の新たなステージに向けて、これからの公民館の役割や地域社会との多様な連携のあり方について研鑽を積みまますことは、誠に意義深いものがあります。」との激励の言葉があった。

まず、令和3年度優良公民館表彰優秀館受賞館の福井県高浜町立和田公民館館長村宮博明氏による「笑顔が集う町の縁側－そうや、公民館へ行かへん!?－」の講演を聴いた。その後、研修1として、和田公民館の実践から学んだことについてグループワークを通し、研修を深めた。



講演する村宮氏

【村宮氏の講演要旨】

- 和田地区・和田公民館の特性
 - ・和田ビーチは、日本の夕日百選、日本の快水浴場88選となる美しい海である。
 - ・社交的、協力的、開放的、明るい人が多い。
- コロナ禍でのオンライン講座
 - ・始める前の3つの問題点
 - ① 職員3人ともICTの知識がない!!
 - ② 館内のWi-Fi設備が整っていない
 - ③ 新しいことを始める予算がない

- ・問題点解決
 - ・詳しい人の指導を受け、3人の職員で喧々諤々の研修を繰り返す。町役場にケーブル整備を懇願、実現。Zoomは無料で予算措置なしで実施。
- ・コロナ禍のオンライン講座実施状況
 - ・5講座19回 参加延べ人数192人
 - ・どこの公民館も閉まっているときにこれだけ実施したことに意味がある。
- 3 オンライン講座の成果
 - ・職員の自信 オンライン講座なら任せて!
 - ・普段公民館へ来ない若い年代の人が講座に参加。
- 4 オンライン講座を通して
 - ・失敗してもよい
 - ・「できない」と思わず、「やってみよう」という気持ちで。
 - ・災いをプラスに
- 5 活動の発信
 - ・SNSを利用。言葉を短く、細めに発信。

【グループワークより(抜粋)】

- ・ICTを活用し、多くの講座を開いておられる村宮館長の指導力、行動力、実行力がすばらしい。そんなふうになりたいと思った。
- ・ICTを活用することで若い人が公民館に集まるということは素晴らしいこと。失敗してもやってみようと思った。
- ・講座に若者から高齢者までをいかに巻き込んでいくかを考えていきたい。土・日の公民館活動も時には必要。

～公民館視察から見えてきた地域課題について話し合う～

研修2として、坂本主任社会教育主事より「はつらつ公民館学び支援事業」実施の7公民館の視察報告があった。その後、視察より見えてきた「若い人を取り込むためにどのようにするか」について話し合うグループワークを行った。

【坂本主任社会教育主事の報告要旨】

- 上市町立宮川公民館
 - ・地域の郷土料理「笹巻」を活動に
 - ・若者の力を引き出したい
- 舟橋村立舟橋村公民館
 - ・高齢者が講師の昔の遊び
 - ・若い世代を取り込む工夫が必要
- 高岡市立福岡公民館
 - ・地域の魅力を体験し、情報発信



グループワーク

- ・子どもたちがわくわくする活動を
- 射水市浅井コミュニティセンター
 - ・ビオトープから発展したアヤメ移植体験
 - ・公民館同士のつながりが大事
- 滑川市立北加積地区公民館
 - ・昔の農業と現代のスマート農業体験
 - ・若者の参加を促したい
- 黒部市立浦山公民館
 - ・地域の自然や人材を生かした活動実施
 - ・少子化に加え親子が忙しく、参加が少ない
- 砺波市立梅檀山公民館
 - ・デジタル防災訓練と大学生の紹介
 - ・過疎地域こそICT活用による情報発信

【「若い人を取り込むために」のグループワーク】

- ・SNSを利用し、いつでもどこでも情報が得られたり、申込んだりすることが有効。
- ・子どもや親子が来たいと思える活動を工夫。

～人と人とのつながりを深める公民館活動の推進～

令和4年度主事・指導員等研修会

県公民館主事・指導員等研修会は、2月16日(木)に、富山県教育文化会館集会室で開催した。新型コロナウイルス感染予防対策のため参加者数を例年の70%に絞り74名が参加した。

研修1では、県教委主任社会教育主事坂本真紀氏が「令和5年度県委託事業について」と題して新事業について説明を行った。

【事業説明概要】

1 新事業名
「公民館 de つながるモデル事業」

2 趣旨
公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業とデジタルを組み合わせ、人々が多様につながる新たな公民館活動の創出を支援する。



説明する坂本氏

- 3 事業内容
- ① 公民館職員への支援とスキルアップ
研修会やアドバイザー派遣等
 - ② デジタルを取り入れた公民館活動への支援
(各市町村1館程度募集)
 - ア 学習成果の発信
 - ・HP、YouTube、SNSの活用
 - ・広報紙のデジタル化
 - イ 多様な参加へのアプローチ
 - ・ハイブリッド型の講座
 - ウ 他館とのオンライン交流

研修2では、富山市立堀川中学校教頭小田仁洋氏が「やってみたら意外と簡単！SNS等の活用で公民館と人をつなぐ～人口減少時代、ICT活用のポイント～」と題して講演した。

【講演要旨】

- 1 活動をやりっぱなしにしない工夫
 - ① 記録に残す(写真、動画)
 - ② 保存先は、SNSに
 - ・YouTubeへの保存
- 2 時間・場所に限定されない講座
 - ① オンライン講演会
 - ② ハイブリッド講演会
 - ③ オンデマンド講演会
- 3 公民館をつなぐSNS
 - ・Instagram「#公民館」で検索
 - ・SNSで活動を紹介
- 4 何かを始めてみませんか
 - ・ドローン撮影
- 5 まとめ
 - ・現状維持は後退
 - ・まずは行動しよう(Do.Do.Do.Do.)
 - ・ICT、SNS活用がカギ



発表する小田氏

・他人の幸せ＝自分の幸せ

研修3では、令和3年度公民館活動研究委嘱を受けた二つの公民館が、実践発表を行った。

ボランティアガイド組織の育成と地域の活性化 黒部市立荻生公民館 館長 前田 俊雄 氏

1 取組に至る経緯
荻生地区の散策マップ、郷土史の発刊を受け、ボランティアガイド組織を発足した。高齢化が進む中、若い世代へ地域の歴史や文化を伝えるとともに、地域の活性化に役立っている。



発表する前田館長

2 事業内容
ガイド先進地との交流(視察研修)を行い、ガイド力の向上を図るとともに、地域の史跡等の勉強会で理解を深めて、定期的に「まち歩き会」を開催している。また、地元の民話を基に紙芝居を製作し、保育所での読み聞かせなどを開催しており、元アナウンサーの方を講師に招いて話し方教室を行うなど、技術の向上に励んでいる。

3 今後の課題
視察研修会を継続的にを行い、ガイド力の向上や育成に努めながら、児童を対象にした「まち歩き」を行い、地域の文化、自然、歴史を伝えていきたい。

住民参画による事業の工夫・推進 上市町相ノ木公民館 館長 田近 克己 氏

1 取組に至る経過
住民参画を事業の柱とし、スポーツ活動などの繋がりを通じて自由な意見を積極的に取り入れ、若年層の参加につなげている。



発表する田近館長

2 事業内容
平成22年から続くパークゴルフ大会は、年々参加者が増え春と秋の2回開催している。公民館まつりは、幅広い年代の作品展示の他に、小学校の提案で6年生が農家の方が栽培した野菜に値段を付けて初めての販売体験をしたところ、見事に完売した。

当公民館は、地域住民による自由な意見交換ができるコミュニケーションの場になっており、連帯感が高まっている。新旧住民もスポーツやボランティア活動を通じて親睦が図られている。

3 今後の課題
中高生が地域で主体的に活躍できる場として、自らが企画立案し、運営に参画していける環境を共に考えていきたい。中学校の部活動「地域移行」に関連しては、eスポーツ、オセロ、囲碁、将棋等をセットにするなど、公民館でも対応し易い内容で後押ししていきたい。

※富山県公民館連合会のホームページで、事業説明と講演、発表、全公連事務局次長村上英己氏の指導助言の動画を配信していますのでご覧ください。

地域の皆様に 親しまれる拠点として

富山市立山田公民館

山田地域は富山市の南西部に位置し、山田川が中央を流れ、緑豊かな自然に囲まれた中山間地域です。

地域の人口は1,285人、世帯数は402戸（いずれも令和4年12月末現在）となっており、山田公民館は、各種サークルや団体、また、他地域同様に、ふるさとづくり推進協議会の主催事業等に利用されています。

当館は、今年度大規模な改修を行いました。1階和室をフローリング、バリアフリー化することで、入口の段差を解消し、土足のまま利用できる



稚鮎の放流体験

ようになりました。この他にも、車椅子用スロープに屋根を付け、出入口ドアを自動化することで、建物内に入りやすくなるなど、利便性が向上しています。

公民館活動としては、今年度はコロナ禍により、残念ながら敬老会等の一部の行事が中止となりました。

しかしながら、ふるさとづくり推進協議会主催のふるさと講座では、山田小学校、山田保育所の子どもたちに稚鮎の放流を体験してもらい、大人の方々には、「スワッグづくり」「多肉植物寄せ植え教室」「ミニ門松づくり」等の各種講座を通して、交流を深めていただきました。

また、文化祭では、3年ぶりにステージ発表を再開するなど、少しずつではありますが、コロナ禍前の活動に戻りつつあります。

これらの公民館活動を通じて、これからも地域の皆様のご協力をいただきながら、創意と工夫で、より一層地域のコミュニティを活性化していきたいと考えています。

わが町の公民館活動

立山町立新川公民館

地域のお茶の間づくり

新川公民館は立山町の北部に位置し、目の前には壮大な立山連峰と、のどかに走る地鉄電車を眺めることができます。また、立山北部小学校が隣接しており、子供たちの元気な声が公民館まで届いてきます。

新川地区の13地区1,147世帯、3,001人のご支援とご協力の下、様々なスポーツ大会や敬老会、住民大運動会、二十歳を祝う会等の行事、「セミナー・学級」等の活動を行っています。コロナ禍のため、行事は中止や縮小を余儀なくされる現状ではありますが、「セミナー・学級」は感染対策を適切にとり予定通り開催しています。

年に4回行っている「ゆったりヨガ教室」、シニア・親子・キッズと様々な世代を対象にした「バランスボール教室」、簡単にできる「寄せ植え教室」、真剣に勝負に挑む「健康麻雀大会」、年末恒例の「干支のちぎり絵教室」等、赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代が参加できる活動を行うことで、地域の方々の交流を深めています。

また、新川公民館での大きな活動の一つに、『新

川サロン』があります。“気軽に参加できる場”として2か月に1回開催しており、「これ、今度教えてほしい。」という参加者の皆さんの思いを大切に、活動を進めています。60～70代の方を中心に、子育て中のお母さんまで幅広い参加があり、「ずっと楽しみにしとったよ。」「〇〇さんも誘うね。」とサロンからどんどん集いの輪が広がっています。

今後も、住民の皆さんの意見を十分に反映し、幅広い世代が利用できる活動を行うことで、「誰もが気軽に集い、ちょっと立ち寄ってみたくなる魅力ある公民館（地域の茶の間）づくり」に努めていきたいと思ひます。



親子でバランスボール教室

「住民参加の地域づくり」を めざして

いっついし自治会
(南砺市福光交流センター)

南砺市福光地区は、富山県の西南部に位置し、西にそびえる医王山、東に小矢部川の清流が流れる、人口3,445人、世帯数1,332世帯、高齢化率43.0%（令和4年11月1日現在）、18町内で構成されています。

南砺市では令和元年度から、公民館と自治振興会および地区社会福祉協議会を一本化した地域づくり協議会が発足しました。

旧福光公民館活動を引き継いだいっついし自治



左義長

会でもコロナ禍の中、感染対策を実施しながら各種事業を進めてきたところです。

たとえば毎年1月に実施している「左義長」。9月には稲刈り後の藁集め、12月の竹取そして1月の実施まで、地域の方々の協力を得ておこなっています。当日は各町内から注連飾りや御札、書き初め等が会場に持ち込まれます。今後はこれらの機会をもっと地域の活性化にも活用できないか思案しています。

また、令和2年度には広く住民の皆さんから意見をいただく、アンケート調査を実施しました。十分とは言えませんが自らの課題を発見し、話し合いながら解決する仕組みづくりにも取り組んでいます。「地域づくり談議」の開催もそのひとつです。身近な課題を取り上げ、市長や外部講師を招いて自由な意見交換会を実施し、各事業に反映させています。

小規模多機能自治が導入されてから4年、試行錯誤しながら今後も住民参加の地域づくりを皆様と共にすすめていきたいと考えています。

わが町の公民館活動

朝日町立山崎公民館

地区や世代を超えた公民館活動

朝日町の中心部から約6キロ離れた山崎地区は、令和4年4月1日現在、世帯数381世帯、人口878人の少子高齢化が進展している地域ではありますが、朝日町の町名の由来でもある朝日岳、白馬岳、「子宝の湯」として知られている小川温泉元湯、そして棚山ゴルフ場があり、県内外からも多くの来客があります。

山崎公民館では、町から委託を受けて、書に親しもう（書道教室）や手芸教室、フラワーアレンジメント教室等を企画して、それらの教室で制作した作品をやまざき美術作品展等にも出展しております。その他にもガーデニング教室やワイン教室、クリスマスケーキづくり教室、町外の見どころを巡る視察研修会等、新たな参加者の掘り起こしを行うとともに、幅広い世代が楽しく交流を深められるような事業についても積極的に取り組んでおります。

また、コロナ禍以前には、富山県からの委託事業として「みそかんぱづくり・流しそうめん体験・バルーンアート教室」を企画し、小学校の児

童や地区住民が参加して、郷土料理「みそかんぱ」の作り方を学ぶとともに、そうめんに参加者が持ち寄ったミニトマトやきゅうりも加えて流し一風変わった流しそうめん体験を行うなど、普段家庭ではできないような体験ができるため、参加者から好評を得ておりました。しかし、直近3年間は、コロナ禍により、事業が実施できない状況にありました。令和5年度には、今までの事業の実施内容や方法等について見直しを行い、関係団体とも連携しながら、地区全体の活性化と交流を図るとともに、他地区の公民館とも連携を図りながら、生涯学習を通じて、地区や世代を超えて親睦が深まるような活動を積極的に展開していきたいと考えております。



クリスマスケーキづくり教室

令和5年度 富山県公民館連合会事業予定

令和5年度の事業予定案をお知らせいたします。

事業		実施期日・概要
大会・研修会	1 第17回定期評議員会 (県教育文化会館)	5月19日(金) 15:30~ ○ 事業及び収支決算報告の承認 ○ 事業計画案及び収支予算案の議決 その他
	2 第17回富山県公民館大会 (県教育文化会館)	9月14日(木) 13:30~ ○ 開会式典・表彰(優良自治公民館、永年勤続職員:10年・20年) ○ 記念講演 ○ 令和4年度研究委嘱公民館の発表(1館)
	3 公民館初任者研修会 (県教育文化会館)	6月15日(木) 13:30~ ○ 講演:今日的課題と公民館の役割、公民館職員としての心構えについて ○ 令和4年度研究委嘱公民館の発表(2館)
	4 公民館館長研修会 (新川文化ホール)	11月8日(水) 13:30~ ○ 講演:地域住民の絆を深め、安心・安全な地域社会づくりを進める公民館の運営について(仮) ○ 令和4年度研究委嘱公民館の発表(2館)
	5 公民館主事・指導員等研修	① 主事・指導員等現地研修会 10月5日(水) 1日研修(場所:県西部地区、参加者:県東部地区)
		② 主事・指導員等研修会 2月21日(水) 13:30~ ○ 公民館事業の進め方、主事・指導員の役割等について
6 先進事例を学ぶ研修会 (県教育文化会館)	12月14日(木) 13:30~ ○ 県委託新事業実施モデル公民館の館長、主事・指導員及び希望者 ○ 公民館活動の今日的諸課題について県外先進事例の講演会や研究討議	
委嘱・助成事業	7 公民館活動研究委嘱事業	4月~令和6年3月 ○ 朝日町、舟橋村、富山市、氷見市、南砺市に委嘱(各1館) ・地域の特性を生かした課題を設定し、研究委員会を中心に研究推進、実践活動
	8 県公民館地域づくり研修会 (市・郡公民館関係者研修会等)助成事業	4月~令和6年3月 ○ 各市・郡ごとに主催開催(隣接市・郡との合同開催可) ・講演会・実践発表・公民館大会・社会教育(生涯学習)大会・先進地等現地研修等
広報	9 県公連会報の発行	4月~令和6年3月 ○ 年3回(7月、12月、3月)発行。(347号~349号) ・主催事業の報告・各地の公民館の実践紹介等
その他	10 県事業等	☆県→県公連委託 ・「公民館 de つながるモデル事業」
	11 大会等への参加	7月15日(土) 第51回富山県社会教育大会(婦中ふれあい館)
		10月20日(金) 第45回全国公民館研究集会・第58回東海北陸公民館大会岐阜大会(岐阜県大垣市:ソフトピアジャパン) 令和6年1月31日(水)~2月2日(金) 全国公民館セミナー

令和5年度東海北陸公民館大会 岐阜大会に多数の参加を!

令和5年度の東海北陸公民館大会は、岐阜県大垣市での開催となります。開催概要は以下の通りです。皆さんの参加をお待ちしています。東海北陸地区の皆さんとの交流と研修を深めましょう。

1. 期日

1日目 令和5年10月20日(金) 9:45~15:50
全体会(開会行事、表彰式、講演)
分科会(発表・研究討議・まとめ)

※1日開催です。

2. 会場

ソフトピアジャパン
(岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7)

3. 分科会

- ・第1「公民館の管理・運営」
- ・第2「家庭・地域・学校との連携と協働」
- ・第3「人材(含 高齢者・青少年)の育成・支援」
- ・第4「地域の活性化、地域防災」



誠実に、まっすぐに
感動を届けたい

コミュニケーション支援企業
北日本印刷株式会社
〒930-2201 富山市草島134-10
TEL076-435-9224(代)
FAX076-435-9220
<https://www.knppk.co.jp/>

おめでとうございます! 受賞公民館を紹介します

- ◇「第75回優良公民館表彰」(文部科学大臣表彰)
 - ・朝日町立山崎公民館
 - ・南砺市南山見交流センター
- ◇「第27回とやま環境賞・優秀活動賞」
 - ・黒部市立浦山公民館